

### 第3学年実践事例 「ものをつくる人たち～工場の仕事～」 からの抜粋

単元名 ものをつくる人たち～工場の仕事～

#### 単元について

##### ・自ら学びを深め合う授業をめざして

3学年においては、めざす子ども像を「課題に向けてすすんで調べようとする子」「地域の見学や調査活動から、発見や疑問を持つ子」「見つけたことや考えたことを記録することができる子」「友達と意見交換することによって、自分の考えを持つ子」と設定し、具体的な支援の方法を単元ごとに考え取り組んできた。

本単元では、見学前にたくさんの質問事項を準備し予想を立て、見学後、予想と実際の違いから学習問題を立てて追究していくということに取り組みたい。また2学期以降、一人調べ学習にも取り組んできているが、ちくわやかまぼこについて調べてきた事実を資料として授業にも活かすことで、児童間での学びの深まりにつなげていきたい。そして、自分の心が動かされたことから学習問題を作り、調べ追究することができる姿勢を育てたいものである。

#### 単元の目標

かまぼこ工場の見学を通して、ちくわやかまぼこ作りに取り組む人たちの工夫や努力、原料や製品を通じた他地域とのつながり、自分たちの暮らしとの結びつきについて捉えることができる。

かまぼこ作りについて関心をもち、意欲的に調べることを通して、自分たちの生活とのかかわりを考える。

工場で行われている生産活動の様子から学習問題を見い出して追究し、生産活動の特色やそれらの仕事に携わっている人々の工夫について思考、判断したことを言語等で適切に表現する。

工場での生産活動の様子を的確に見学、調査したり、具体的資料を活用したりして必要な情報を集め、読み取ったりまとめたりすることができる。

工場で行われている生産活動には、原料や製品を通じた他地域や外国とのつながり、働く人の工夫や努力があることを理解する。

#### 学習指導計画・評価計画（全15時間）

内の数字・・・時間数      学習活動      関心・意欲・態度      思考・判断・表現  
 < >内・・・評価方法      観察・資料活用      知識・理解      ・児童の予想

		目標	学習の流れ（学習活動・児童の反応）	評価規準・支援（ ）
課題をつかむ 予想する		身の回りの品物の大半は、工場で作られたものであるということに気付かせ、高知市の工場に関心を持たせる。	お店で売られている品物は、どこで作られているのだろう。 日頃、身の回りで使っている物で、工場で作られているものはないか、話し合う。 ・かまぼこもお菓子もティッシュペーパーもみんな工場だよ。 高知市に工場はないか、自分たちの経験や高知市の地図から話し合う。 ・かまぼこやお菓子の工場があるよ。	工場で作られるものに関心を持つことができる。 <発表・ノート>

	高知市の工場で作っているものに関心を持たせる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">高知市にある工場では、何を作っているのだろう。</div> <p>かまぼこの実物や高知市の地図などから、高知市にある「かまぼこ工場」を予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・魚からできているのかな。</li> <li>・おばあちゃんがかまぼこ工場で働いているよ。</li> <li>・給食のちくわはこの工場で作ったの？</li> </ul>	「かまぼこ工場」で作られるものに関心を持つことができる。 <発表・ノート> 家庭での聞き取りをさせておく。
調べる・追究する	調べたいことをはっきりさせるため、見学の計画を立て、見学する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">見学の計画を立て、見学をしよう。</div> <p>見学に行き、何を見て確かめ、何を聞いてくるか、ノートに書き出しておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どうやってたくさんのちくわを作るのか。</li> <li>・働く人は何を考えながら働いているか。</li> <li>・前に停まっている車はどこへ行くのかなど。</li> </ul> <p>見学のルールを守って見学をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">工場で働く人は、どのようにしてちくわや天ぷらを作っているのだろう。</div>	調べることを書き出し、見学の準備ができる。 <見学カード>  工場の話やメモしたり、観察したりして見学をすることができる。 <態度>

## 指導の実際

### 【第1・2時】課題をつかみ予想する

前単元で学習した店の品物を想起させ、田や畑で作られるもの、工場で作られるものなどを確かめていった。すると日頃身の回りで使っているものの他に食べ物でも工場で作られることが多いということに気付き、児童は工場というものに関心を持つようになった。そして、校区地図を見たり自分の通学路を思い出したりしながら、工場はどこにあるのか、何をどのように作っているのかなど、予想を出し合いながら興味関心を深めていった。

またかまぼこに着目させた後、家庭での聞き取りを基に、かまぼこの原料について確認したりかまぼこ工場が浦戸湾周辺にいくつかあることなどを確認したりしていった。ここでの学習が見学の時に聞いた「土佐かまぼこ工場は、土佐湾で獲れた魚を使って新鮮なうちにすり身を作り、それを原料として安心・安全のかまぼこを作っている。」という話とつながることとなった。

### 【第3・4・5時】共通体験を通して調べる

前単元でも見学をしているので、その視点を生かしながら、何を見て確かめ、何を聞いてくるかということと話し合った。そして、自分が調べたいことや予想を書かせるようにした。

見学の際は、気付きを後の学習問題につなげていくために、見たことや気付いたことをメモするように指導した。どこの見学でも同じではあるが、このかまぼこ工場では高温での製造工程があり、200度の天ぷら油や180度のちくわ焼き機の側を通るので、特に安全面での配慮が必要であった。また、床が油で若干滑りやすい感じもした。これらの熱いとか滑るとかという感覚は、後の施設設備の学習で活かされていくのだが、見学の際は気を付けなければならない点であった。また工場内の見学後に、質問をさせていただいたのだが、児童は前時で書き留めておいた「自分の調べたいこと」をよく質問することができていた。さらに、機械の値段や働く人の工夫や願いにまで質問が広がり、前単元での視点が活かされていることを感じた。